

Elazzio

SEAT COVER



SUBARU
CROSSTREK
IMPREZA

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

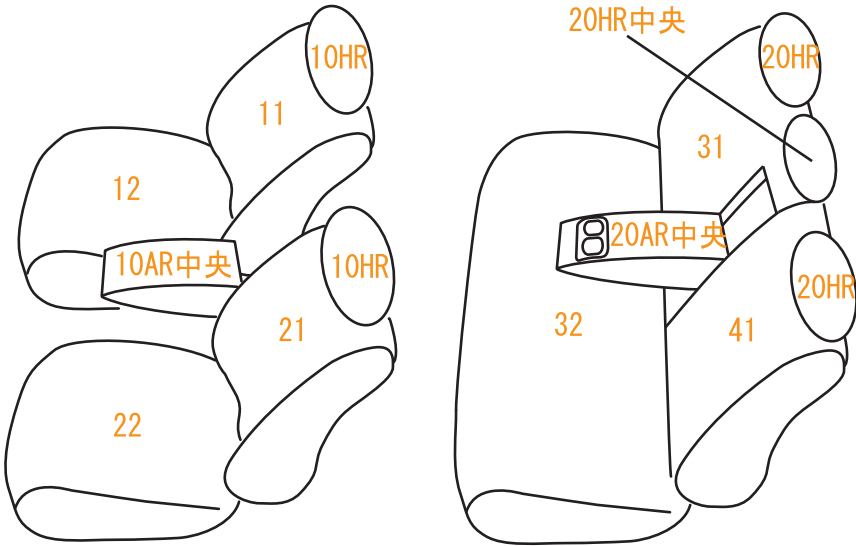
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

- シートカバー装着前の注意事項 …> 1P～2P
- 警告 サイドエアバッグについて …> 3P～4P
 - 1 列目座面の装着方法 …> 5P～7P
 - 1 列目背もたれの装着方法 …> 8P～10P
 - 2 列目座面の装着方法 …> 11P～16P
 - 2 列目背もたれの装着方法 …> 17P～20P
 - ヘッドレストの装着方法 …> 21P～23P
- コンソール（フタ）の装着方法 …> 24P～26P
- 2 列目アームレストの装着方法 …> 27P
 - 完成図 …> 28P
- アフターサービスと生地別メンテナンス方法 …> 29P～30P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① プラスドライバー (No. 2)
- ② 両面テープ (薄いタイプ) ※コンソール (フタ) カバーを装着する際、必要に応じてご用意ください。
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種では上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかきつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。

3P ▶



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押し、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



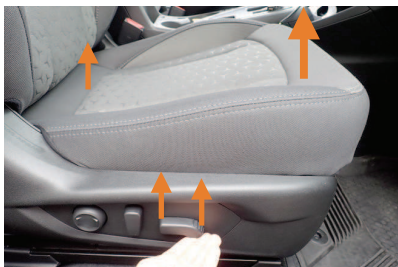
- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

1 列目座面の装着方法



- 1 シートカバーを装着する前に、シートを一番高い位置に調整しておきます。



- 4 シートカバーを装着します。シートの前側に引っ掛けるようにして、シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 2 シート背面下の生地を外します。生地はゴムをシート裏の金属部分に引っ掛けて固定されています。ゴムの固定を外して生地を窓のようにシートの背面側から引き出します。



- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。シートの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行ってください。



- 3 2番の生地をめくり上げます。裏側に配線が数本通っています。配線を固定しているマジックテープを外して、配線を移動できる状態にします。



- 6 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。生地を引き出す際は、3番で固定を外した配線を交わしながら生地を引き出してください。

5P ▶

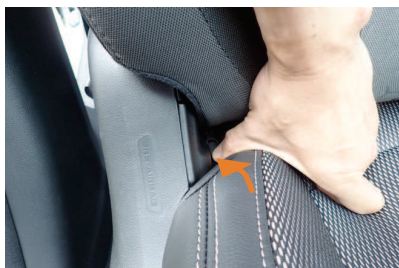
引き出した生地をマジックテープで直接シートに貼り付けて固定します。マジックテープには保護テープが付いている場合があります。その場合は保護テープを外して作業を行ってください。



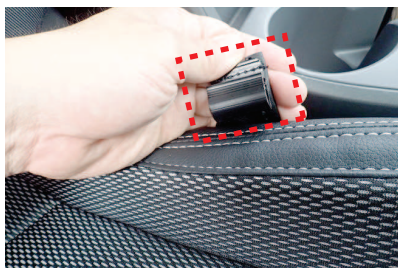
- 7** シートの外側です。
シートとプラスチックパーツの隙間に、端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



- 10** マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 8** シート外側の付け根部分です。
生地の端に付いているゴムをシートの裏側から引き出せるように、図の隙間に入れ込みます。



- 11** シート内側の後ろ側です。
カバーには図のようなプラスチックフックが付いています。



- 9** シートの内側です。
カバーの裏側には図の世にマジックテープが付いています。



- 12** プラスチックフックをシートとコンソールの隙間に入れ込みます。
フックをまっすぐ入れ込んだ先に、フックが引っ掛かる金属部分があります。こちらは手探りの作業になるため分かりにくいのですが、フックの先端をシートの裏に回すぐらいまで指の腹で押し、金属部分に引っ掛けて固定します。



- 13** シート内側の付け根部分です。こちらも外側と同様に生地の際に付いているゴムをシートの裏側から引き出せるように、図の隙間に入れ込みます。



- 14** 8番・13番で入れ込んだゴムを、シート背面側のシート裏から引き出します。



- 15** 引き出したゴム同士を付属の金属フックで固定します。



シート裏を前側から見た図

- 16** シートの前側の裏側です。カバーの端に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。生地にしワが寄らないように、マジックテープを伸ばしながら作業を行ってください。



- 17** カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席も同様に取り付けます。

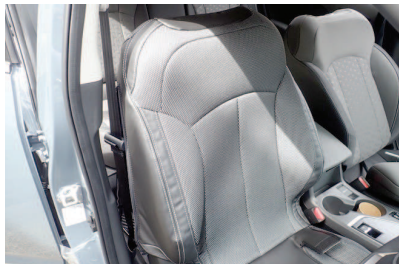
Step2

1 列目背もたれの装着方法

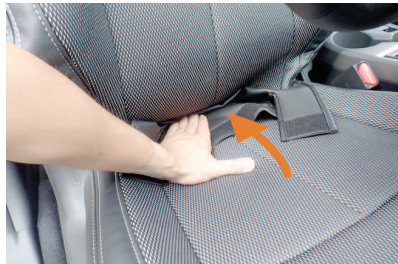


注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- 1 背面のファスナーを全て開いた状態にしてシートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



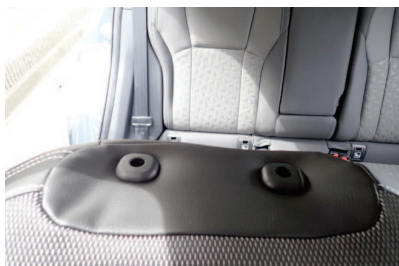
- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



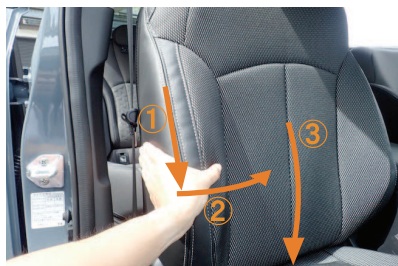
- 2 ヘッドレストの台座を加工穴から取り出します。まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- 5 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。この際生地の分かれ目で配線を交わすようにして、生地を引き出してください。



- 3 生地の伸びを利用して台座を取り出します。



- 6 カバー側面の生地を、図の①～③の順番でシートに密着させるようにして、シワをなくしていきます。側面の生地がしっかりと張るまで繰り返し行ってください。



- 7** 5ページ2番で外した生地を、めくり上げてカバーの内側に入れ込みます。



- 8** シートの背面側から生地を内へ寄せ合いながら慎重にファスナーを閉じます。こちらは作業スペースの狭い内側から行うようにしてください。
ファスナーを閉じる際、ハンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 9** ファスナーの端は、折り返してカバーの内側に入れ込みます。



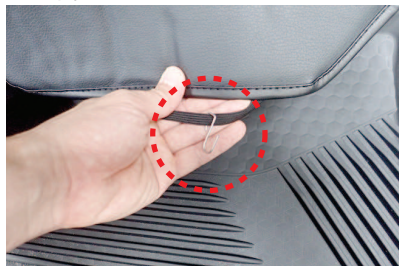
- 10** 5番で引き出した生地とカバーの背面下の生地を、マジックテープで固定します。背もたれ背面のマジックテープの方が幅が狭いため、両端から引き出したマジックテープは半分程貼り付くようになります。

⚠ 注意 ⚠

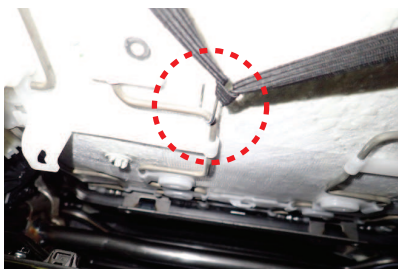
サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



- 11** マジックテープを固定したカバーの背面側は図のようになります。5ページ3番で固定を外した配線部分は、カバーで挟まれることである程度固定されます。



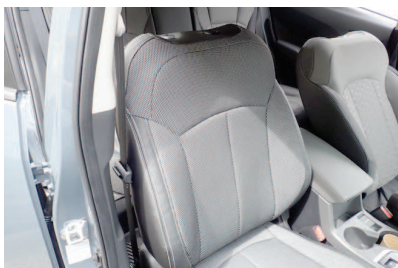
- 12** カバー背面下の生地についているゴムに、付属の金属フックを取り付けます。



- 13** 金属フックをシート裏の金属のフレームに引っ掛けて固定します。



- 14** シートの背面は図のようになります。



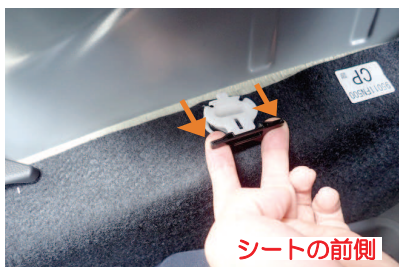
- 15** サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認してください。
カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。
助手席も同様に取り付けます。

Step3

2列目座面の装着方法



- 1** 2列目座面はシートを車体から外してシートカバーの装着を行います。
まずシートの前側にあるシート裏のフックを外します。フックは運転席側・助手席側にそれぞれ一か所ずつあります。



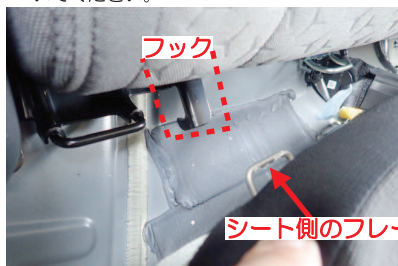
- 2** フックの外し方はまずシートの裏に指を入れてフックの位置を確認します。フックは図の形状をしているので、黒い部分を2本の指で手前に引きます。
図では分かりやすいようにシートを外した後の画像を使用していますが、実際は手探りでの作業になります。



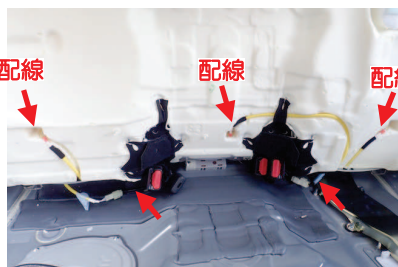
- 3** 黒い部分を手前に引いたらシートを持ち上げます。そうするとフックのロックが解除されフックの固定が外れます。作業は運転席側・助手席側それぞれ片側ずつ行ってください。
黒い部分を引くのと同時にシートを持ち上げると、黒い部分が引けなくなりロックが解除できません。必ず黒い部分を引いてからシートを持ち上げるようにしてください。



- 4** シート前側の固定が外れたら、付け根側の固定を外します。付け根側の固定は5番の図のフックで固定されています。シートの前側を少し斜めに浮かした状態でシートの付け根部分を車体側に押し付けます。押し付けた状態でシートの前側をもう少し斜め上に持ち上げると付け根側の固定が外れます。
この際、シートベルトバックルの後ろ側の生地を、図の右上のようにめくり上げておいてください。



- 5** 付け根側の固定部分です。車体側にフックが、シート側にフックを引っ掛けるフレームがあります。



- 6** シートの固定が外れても完全にシートを車体から外せるわけではありません。シートの裏側の矢印部分には配線がシートの裏側につながっています。配線部分はそのままでシートカバーの装着を行っていきます。



- 7** シートを5～10センチメートルほど手前に引き出します。
無理にシートを動かすと6番の配線が切れる恐れがあるので注意してください。



- 10** 片方のツメが外れると今度は逆側のプラスチックパーツのツメを同様に外します。後から外すツメの方がきつくなります。



- 8** チャイルドシートを固定する差込口のプラスチックパーツをシートから外します。こちらは**12番**の形状をしています。まずプラスチックパーツの片側を指で強く押します。



- 11** 両方のツメを外すと図のようにシートからプラスチックパーツが外れます。プラスチックパーツは合計4箇所あります。全て外してください。



- 9** プラスチックパーツの端を押しながら、シートの裏側からプラスチックパーツの裏側のツメを内側へ寄せます。そうすると片側のツメの固定が外れます。



- 12** プラスチックパーツの裏側は図のような形状をしています。



- 13** シート中央の端にマジックテープが付いた生地を図のように内へ寄せておきます。



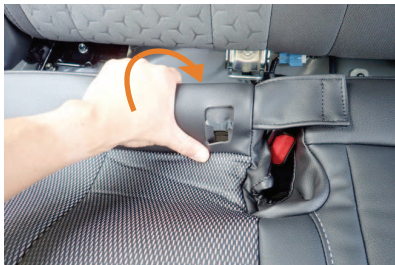
- 16** 5番で出てきた金属フレームをカバーの加工穴の位置と合わせて通します。



- 14** 13番の生地を覆うように、カバーをシートの形状に合わせてかぶせます。



- 17** シートの付け根側を軸として、シート全体にカバーをかぶせます。



- 15** 運転席側・助手席側のシートの付け根部分にもカバーをかぶせます。
この際、6番の配線に生地が覆いかぶさる状態になります。シートを手前出した状態だと配線に生地が引っ掛かっているようになりますが、配線を無理に引っ張らないように作業を進めてください。シートを車体に固定しなおすと生地引っ掛かりも解消されます。



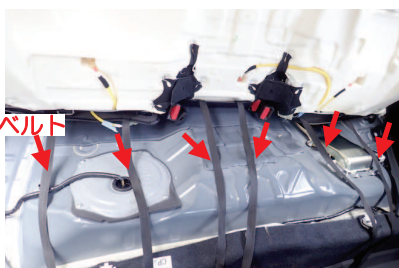
- 18** シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 19** チャイルドシートを固定する差込口のプラスチックパーツをシートに戻します。プラスチックパーツを外したシートの穴とカバーの加工穴の位置を合わせます。



- 20** 加工穴は少し小さめに開けています。生地を挟み込み、プラスチックパーツをシートに戻します。
元から固定がきついパーツですので生地を挟み込むことにより、さらにきつくなります。しっかりと押し込み固定して下さい。



- 21** シートを図のように跳ね上げます。シートの付け根側のカバーに付いているベルト6本を、前側に引き出します。



- 22** ベルトをカバーの前側に付いているバックルに通して固定します。まずバックルの3か所ある穴の中央部分にベルトを通します。



- 23** 通したベルトを折り返して次につまみが付いている方の端の穴に通します。



- 24** 通したベルトを引くとカバーの前後が引き絞られ固定されます。ベルトはあまり強く引きすぎると切れたり生地が破れたりする恐れがあるので注意してください。



25 ベルトを6本とも固定すると図のようになります。



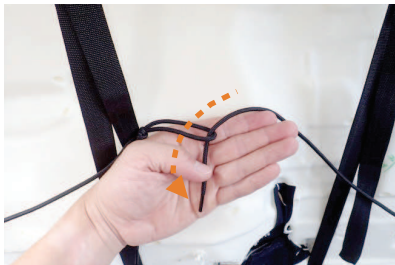
28 通したヒモを引くと、シートの下回りのカバーが絞り込まれます。ある程度絞り込んだ状態で、緩まないようにヒモを結び留めます。



26 カバーの両端から出ているヒモを固定します。始めに片方のヒモで図のように輪を作ります。



29 シートの裏側は図のようになります。



27 次に作った輪にもう片方のヒモを通します。



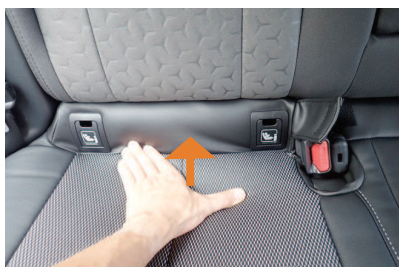
30 シートを車体に戻します。シートベルトのバックルをシートの隙間に通します。



- 31** 5番のフックを固定します。フックの位置が合っているか確認してください。



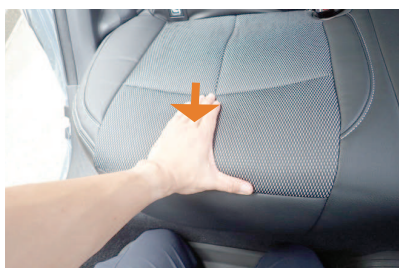
- 34** シートベルトバックルの収納部の生地を、シートの形状に沿わせるように整えます。バックルに生地が引っ掛かっているようになっている場合は、ヘラなどで生地を奥へ入れ込んでください。



- 32** シートの前側を少し持ち上げて、シートの付け根部分を車体側へ押し込みます。こうすることで**31番**のフックが固定されます。



- 35** シートベルトバックルの付け根の生地をマジックテープで固定します。シートカバーでは純正シート地とは逆の向きに固定する仕様になっています。



- 33** シート前側のフックを固定します。シート裏のフックの位置が受け側と合っていることを確認してシートを真上から押しします。フックが固定できたら、軽く持ち上げてしっかり固定できているか確認してください。
フックと受け側の位置が少しでもずれているとなかなかフックが固定できない場合がありますので、注意してください。



- 36** カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。

Step4

2列目背もたれの装着方法



- 1** 始めにラゲッジボードを車体から外します。図のようにトランクを開けて、車の後ろからボードを引き上げるとボードが外れます。ボードの前側にフックが付いているのでフックが引っ掛かるようであれば、そちらを持ち上げて外してください。



- 2** シートの背面側からラゲッジ部分に固定されている生地を外します。こちらはリベットピンで固定されているのでピンの周辺をしっかりと持ち、真上を持ち上げてピンを外します。ピンが外れにくい場合は内張りはがしなどの工具を使用してください。



- 3** ピンを外して生地をめくり上げると図のようになります。



- 4** 3番で生地をめくり上げた付け根部分です。こちらではシート表皮が固定されています。シート表皮の固定を外します。フック状のプラスチックパーツから板状のプラスチックパーツを図の矢印方向に抜き出します。



- 5** シート表皮の固定が外れると中のスポンジが見える状態になります。この状態からシートカバーの装着を行います。



- 6** 始めにアームレストを少し斜めに倒して、カバーの加工穴に通します。



- 7** シートのロックを解除する箇のレバーをカバーの加工穴に通します。



- 10** ヘッドレストの台座同様に、シートのロックを解除するレバー部分にも生地を入れ込み、レバーを取り出します。



- 8** シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 11** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 9** ヘッドレストの台座を全て取り出します。



- 12** 入れ込んだ生地をシートを倒して引き出します。シートを起こしてシートの表面側に生地が余っていないか確認しながら生地を引き出してください。



- 13** 4番で固定を外した純正シート地を、シートカバーの固定に邪魔にならないように折り畳んでおきます。



- 14** 12番で引き出したカバーの生地と、シート背面下の純正シート地を固定します。固定方法は純正シート表皮と同様です。シート背面の純正シート地のフック状のプラスチックパーツに、カバーの板状のプラスチックパーツを差し込み固定します。



- 15** フックは生地が引っ張られると反発して外れてしまうことがあります。しっかり固定するために差し込んだフック部分をヘラなどを使用してしっかりと入れ込みます。



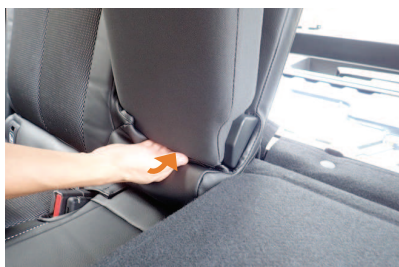
- 16** シートカバーと純正シート地を固定すると図のようになります。フックを固定した後、シートを起こす⇒倒すを繰り返してみて簡単にフックが外れることがないか確認してください。簡単に外れてくる場合は、シート表面の生地をしっかりとシートに馴染ませて、12番の工程で生地をしっかりと引き出して、プラスチックパーツの固定をやり直してください。



- 17** カバー内側のファスナーを、生地を内へ寄せ合いながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの内側に入れ込みます。



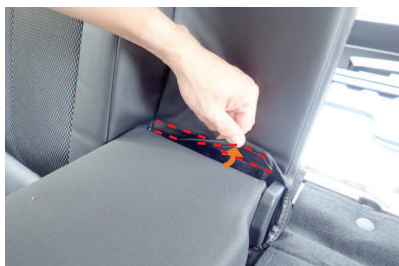
- 18** カバー背面下の生地マジックテープが付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 19** アームレストの下から端にマジックテープ付いた生地を入れ込みます。



- 22** シートを車体にロックする部分です。カバーの加工穴の位置とロック部分がか合っていることを確認してください。
加工穴は大きめに開けていますが、ロック部分に生地が掛かっている場合はカバーの装着を見直してください。



- 20** アームレストを倒して入れ込んだ生地を引き出します。
引き出した生地をアームレスト収納部下側の生地とマジックテープで固定します。



- 23** 2番で外した生地を元通りに固定します。



- 21** シート背面のチャイルドシート固定用フック部分を囲っているプラスチックパーツの隙間に、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 24** カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。
助手席側は一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

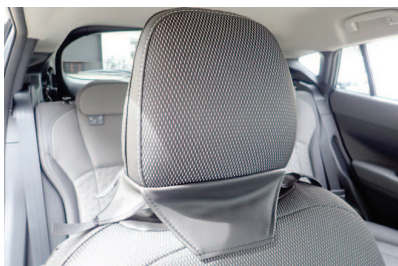
Step 5

ヘッドレストの装着方法

1列目ヘッドレスト



- 1** カバーは平らなプラスチック付いている方が前になります。カバーの入り口を図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレスト先端の生地が張るようにしっかりとかぶせてください。



- 2** 裏返していた部分を左右均等に引き下ろしカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3** ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレストの裏側の生地を互いに寄せ合い、マジックテープで固定します。



- 4** カバー前後のプラスチックフックを固定します。



- 5** プラスチックフックの固定方法は、フック状のプラスチックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6** ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 7** カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



- 10** ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレストの裏側の生地を互いに寄せ合い、マジックテープで固定します。

2列目ヘッドレスト



- 8** カバーは平らなプラスチック付いている方が前になります。ヘッドレストの先端から全体にカバーをかぶせていきます。



- 11** 1列目ヘッドレストカバーと同様にブラックを固定します。ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 9** ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。

2列目中央ヘッドレスト



- 12** 始めにヘッドレストに固定されている中央席用のシートベルトガイドを外します。ガイドはネジ2本で固定されています。ドライバーを使用してネジを外します。



- 13** カバーは平らなプラスチック付いている方が前になります。
ヘッドレストの先端から全体にカバーをかぶせていきます。



- 16** シートベルトガイドを固定したヘッドレスト裏は図のようになります。



- 14** 1列目・2列目ヘッドレストと同様にマジックテープとブラックでカバーを固定します。



- 17** カバーのラインを整えて、2列目・2列目中央ヘッドレストの完成です。



- 15** 始めに外したシートベルトガイドを固定します。
純正シート地がずれてネジ穴が分からなくなる場合があります。ネジ穴の位置を確認してから作業を行ってください。

Step 6

コンソール（フタ）の装着方法



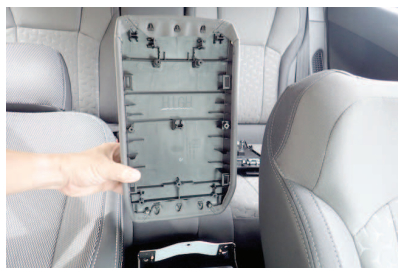
- 1 フタ裏のプラスチックパーツを外します。コンソールのフタを開けて、図の赤丸部分のネジ6本をドライバーを使用して外します。



- 4 コンソールのフタをコンソール本体から外します。コンソールのフタを開けて、図の赤丸部分のネジ3本をドライバーを使用して外します。



- 2 プラスチックパーツの図の隙間にヘラなどを差し込みます。ヘラを慎重に返すとプラスチックパーツ裏側のツメが外れます。



- 5 コンソールのフタは図のように外れます。



- 3 ツメが全て外れると、図のようにコンソールのフタからプラスチックパーツが外れます。



- 6 外したコンソールの周りに図のように両面テープを貼り付けます。両面テープはカバーの仮留めに役立ちます。こちらは推奨作業になります。必ずしも行う必要はありません。



- 7** コンソールのフタにカバーをかぶせます。生地の端に図の切込みがある方が前側になります。



- 8** コンソールのフタにカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。フタのラインに合わせてカバーをかぶせてください。



- 9** 12番の両面テープを使用している場合はここでカバーを仮固定しておきます。



- 10** フタの表面を確認します。両端にあるデザインステッチがずれていないか確認してください。ずれている場合はカバーの装着を見直してください。



- 11** フタの裏側に生地が回っているのを確認してください。この生地を挟み込みフタをコンソール本体に戻します。



- 12** 付け根部分の生地を挟み込み、フタをコンソール本体に固定します。



- 13** 生地を挟み込みプラスチックパーツを元に戻します。



- 16** コンソールのフタの裏側は図のようになります。



- 14** まずネジを軽めに締めるようにしてください。
この時に、生地が少しはみ出てきても問題はありません。次の作業でしっかりと入れ込んでください。



- 17** コンソールのフタの後ろ側は図のようになります。



- 15** はみ出てきた生地をヘラなどを使用して入れ込みます。
赤線で囲んでいるコンソールのフタの裏側に、生地が浮いた状態になっていると、フタのロックが掛かりにくくなる場合があります。しっかりと生地を入れ込みネジを締め直してください。



- 18** コンソールのフタ完成です。
コンソールのフタのカバーは、**15番**で生地をしっかりと入れ込んで生地があるため最初はフタが閉まりにくくなる場合があります。
その場合はしばらくフタを開けたままにしておくと、生地に型が付きフタが通常通りに閉められるようになります。

Step 7

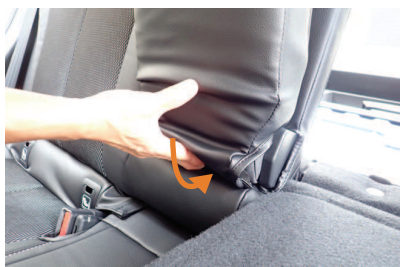
2列目アームレストの装着方法



- 1** カバーの入り口を図のように裏返して、アームレストのラインに合わせてかぶせます。アームレスト先端の生地が張るようにしっかりとかぶせてください。



- 4** アームレストの付け根部分でプラスチックフックを固定します。プラスチックフックの固定方法は21ページ**5番**を参考にしてください。



- 2** カバーをアームレスト全体にかぶせて、アームレスト付け根部分の生地を図のように入れ込みます。



- 5** ドリンクホルダーのフチに生地を入れ込みます。



- 3** アームレストを倒して、生地と端に付いているプラスチックフックを引き出します。



- 6** カバーのラインを整えて、2列目アームレストの完成です。

完成図



1 列目



1 列目背面



2 列目



2 列目アームレスト使用時



2 列目背面



2 列目可倒時

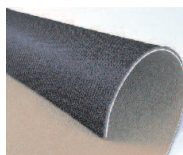


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816